

「2020年度秋季研究発表大会」のお知らせ

更新：2020/7/21

第30回 国際P2M学会 研究発表大会 The 30th Congress of International P2M Association

「危機を乗り越える P2M」

2020年度の国際P2M学会秋季研究発表大会（開催校：早稲田大学）は、Web形式にて開催致します。遠方の方でも、自宅や勤務先から参加頂けますので、ぜひこの機会をご利用下さい。

本大会のテーマは、「危機を乗り越える P2M」です。新型コロナウイルス、地球温暖化、少子高齢化、地方過疎化、デジタル化遅れ、企業、雇用、教育、医療等々の、喫緊且つ複雑系の諸問題解決に、今こそP2M（Project & Program）の知識体系進化とその応用が必要とされています。会員の皆様に日頃の研究成果をご発表頂くとともに、一般の方々も是非この機会に議論に加わって下さい。

発表もしくは参加を希望される方は、以下の申し込み要領を参照の上、期限までにお申込みください。本大会は、午後の基調講演とパネルディスカッションのみの一般参加も受け付けております。

1. 大会テーマ

「危機を乗り越える P2M」

2. 開催日・形式

- ・開催日：2020年10月17日（土）
- ・開催校：早稲田大学 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
- ・開催形式：午前の部（研究発表） オンデマンド配信
午後の部（基調講演とパネルディスカッション） ライブ配信

※ インターネットに接続可能なパソコンやタブレット PC、スマートフォン等から、簡単にご参加頂けます。
発表方法や参加方法の詳細は、お申し込み後に別途ご案内致します。

3. 開催団体に関する情報

- ・主催：一般社団法人 国際 P2M 学会（※）
- ・共催：早稲田大学 環境総合研究センター
- ・会長：国際 P2M 学会会長 山本秀男
- ・実行委員長：早稲田大学 環境総合研究センター 上級研究員 岡田久典
- ・実行副委員長：早稲田大学 環境総合研究センター 研究院准教授 永井祐二

※一般社団法人 国際 P2M 学会

国際 P2M 学会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター(平日：10時～17時)

TEL: 03-6824-9371 / FAX: 03-5227-8631

4. 大会趣旨

現代世界は気候変動、災害や地政学リスク、格差問題など多様で複雑な問題にしており、人類の将来の不確実性や不協和のリスクが増加している。これらの問題解決のためにわれわれは、専門領域を超え英知を集集し、全体最適、全体調和を目指して社会ニーズに添えていかねばならない。本学会は、研究者、実務家が集結し、理論と実践面から社会、行政、産業、学界のために新しい問題解決型の知識進化と体系化を目的に設立された。(国際 P2M 学会設立趣旨より)

目下、新型コロナウイルスによるまさに未曾有の人类的危機の真ただ中にあるが、かかる複合的な危機に対して、個別の専門分野毎の対応では到底対応しきれないのではないだろうか。我が国は、この十数年の間にも東日本大震災など大きな危機を経験してきたが、今般、世界的な困難に直面している。改めてその危機を乗り越える全体最適、全体調和を目指すことが求められている。本学会は、これらに対応する新しい「仕組みづくり」を基軸に据え、「危機を乗り越えるための」革新的な価値創造と全体調和を同時に実現する思考や方法論の追求による社会貢献が求められている。

パンデミック、医療・福祉の持続性、経済危機、DX 等による生産性向上、環境破壊、原発事故、食の安全と供給不安、学力低下、少子化、高齢化、雇用、年金問題などは、わが国を中心に世界が直面する複雑系の社会問題の典型的な事例であり、これらの問題への対応は SDGs や Society 5.0 等の構想にも掲げられている。これらの問題群の共通項として、人間行動、制度、組織、システム間の相互作用が指摘されており、一つの問題に単独プロジェクトで対応する発想の数多くの取組は、既に限界を迎えている。かかる現状下では、全体像を使命に複合プロジェクトを集約して展開するプログラムマネジメント思考が、最も必要とされる時代になったと確信している。

本大会では、「危機を乗り越える P2M」について議論し、早急な応用への道を拓きたい。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

5. 大会スケジュール： ※ 都合により、変更される場合があります。

(1) 研究発表の部 (オンデマンド配信) ※発表プログラムは 10 月上旬以降に学会ホームページ上に掲載します。

10 月 17 日～11 月 16 日：発表予稿・動画・質問&コメント・回答の閲覧期間

10 月 17 日～10 月 25 日：発表者への質問&コメント受付期間

10 月 17 日～10 月 27 日：発表者から質問者への回答受付期間

(2) 講演の部 (ライブ配信)

13:00 - 13:20 開会挨拶 山本秀男 氏 (国際 P2M 学会会長)

開催校挨拶 友成真一 氏 (早稲田大学 環境総合研究センター所長、教授)

13:20 - 14:20 基調講演「グローバルヘルスの考え方」～世界での経験から～

池上清子 氏 (長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授)

14:20 - 14:40 休憩

14:40 - 16:40 パネルディスカッション「危機を乗り越える P2M」

モデレータ：岡田久典 氏 (早稲田大学 環境総合研究センター 上級研究員)

パネリスト (順不同)：

池上清子 氏 (長崎大学 教授)

白井久美子 氏 (日本ユニシス(株) 執行役員)

吉川成美 氏 (県立広島大学 教授)

島岡未来子 氏 (早稲田大学 教授、神奈川県立保健福祉大学 教授)

16:40 - 16:50 閉会挨拶

6. 研究発表大会参加費関連

- ◆ 大会参加費：今大会の参加費支払いは 全て事前振込みのみにて受け付けます。
下記学会の銀行口座宛にお振込下さい。（振込最終締切：2020年10月5日（月））
10月6日以降は、参加申込ならびに参加費振込の受付は致しません。
また、10月5日迄に未振込の場合は、投稿論文を予稿集に掲載致しません。

	早期割引参加費 (9月25日まで)	参加費 (9月26日～10月5日)
会員		
：正会員、法人会員に所属の方	8,000円	9,000円
：学生会員	2,000円	3,000円
非会員		
：社会人、社会人学生	10,000円	11,000円
：学生、大学院生	4,000円	5,000円

※予稿の筆頭著者（当日の発表者）は、国際P2M学会会員に限られます。当学会に未加入の方は、遅くとも2020年9月14日（月）までに入会手続きを済ませてください。新規入会には、上記参加費とは別に、正会員が12,000円（入会金2,000円、年会費10,000円。社会人学生を含みます）、学生会員が6,000円（入会金1,000円、年会費5,000円）、必要となります。

尚、入会費の振込み先は ホームページ及び入会申請フォームに記載の「ゆうちょ」口座です。大会参加費振込口座とは異なりますのでご注意ください。

入会手続きの詳細は、学会ホームページから、こちらをご覧ください

→ <http://www.iap2m.org/accept.html>

- ◆ 講演の部（ライブ配信 13:00～16:50）のみの参加費：学会員、非会員とも：3,000円

- ◆ 大会参加費振込み先銀行口座：

三井住友銀行（銀行コード：0009）
飯田橋支店（店番号：888）
普通預金（口座番号：7098073）
口座名義（一般社団法人 国際P2M学会）

※大会参加申し込み Web 画面で「領収書 ●必要」を選択した方には、大会開催後、領収書（PDF）をメールで送付いたします。

- ◆ 留意事項

※ 振込済みの参加費は、不参加の場合でも返金できません。

7. 参加申し込み方法

- ◆ 参加申込期限：

論文投稿者：9月14日（月）迄に申込み登録を済ませてください。

大会参加のみの方：参加費振込の最終締切10月5日（月）迄に申込登録を済ませてください。

- ◆ 研究発表大会参加申込みはこちらから（注、発表者も、申込み登録が必要です）

http://www.iap2m.org/regist_taikai.html

- ◆ 参加登録に関する参考情報

お使いのブラウザが Internet Explorer の場合、バージョンが新しいと無応答になる場合があります。

次の操作を参考にしてください。 <http://www.iap2m.org/pdf/ie201309.pdf>

8. 発表者への要旨と予稿の投稿、及び発表動画登録に関するご案内

◆ 要旨の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2020年8月17日(月)24時(厳守)

投稿方法 : 要旨は、次の URL から、web 登録画面に従い入力して下さい。

http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html

査読選択 : 予稿論文の審査を希望される方は、査読希望「●有」を画面上で選択してください。

尚、採択後の論文の学会誌掲載料は 30,000 円です。

スライド形式のみの予稿も歓迎します。但し、その場合、査読は選択できません。

◆ 予稿の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2020年9月14日(月)24時(厳守) ※締切後の投稿は一切受け付けられません。

投稿方法 : 要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。それに従い、PDF 形式の予稿を投稿してください。

◆ 発表用動画と聴講者質問への回答入力の期限及び方法

動画入力期限: 2020年9月27日(日)24時(厳守) ※締切後の入力は一切受け付けられません。

質問回答期限: 聴講者からの質問(受付期間 10月17日(土)~10月25日(日))に対する回答は、10月27日(火)24時まで、後日、編集委員から指定された URL に入力して下さい。

動画入力方法: 要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「動画入力方法」に関するメールが届きます。それに従い発表動画(※)を作成し、指定 URL に入力して下さい。

※ パワーポイント(2010以降)で録音後、ビデオファイル(mp4形式、10~20分)作成。

引用文献・図表等は、著作権法第32条に基づき、発表者の責任で対応願います。

◆ 受付メール確認のお願い

要旨及び予稿投稿後各1週間以内に、編集委員より受付メールを登録アドレス宛に送信します。

「@iap2m.org」のドメインから届くメールが、迷惑メールフォルダに入らないように設定して下さい。

万が一、着信しなかった場合は、下記学会事務局宛にお問い合わせ下さい。

国際 P2M 学会事務局 http://www.iap2m.org/regist_p2moffice.html

◆ 査読希望者へ:

当学会では、予稿が査読論文として審査されます。

頁数 : 最大 20 ページ

論文形式 : 投稿規程を遵守して下さい。

論文投稿規程 : http://www.iap2m.org/pdf/IAP2MSubmissionGuideline_191220.pdf

書式サンプル : <http://www.iap2m.org/file/sample.doc>

補足 : 予稿に P2M との関連性と関連参考文献を明記願います。

当学会の過去の論文誌は、J-stage から閲覧できます(最新号は会員のみ閲覧可)。

(→http://www.iap2m.org/pdf/201611jstage_1.pdf)

論文執筆経験が浅い方は、投稿前に本学会主催のセミナーを受講するなど、学術論文作成経験者から論文作成の指導を受けることをお勧めします。

英文の要旨(または英文本文)は、可能な限り英文としての品質向上に努めて下さい。

◆ 発表奨励賞 : 各発表分野別に受賞者を選出し、11月上旬に学会ホームページ上に掲載して表彰します。

9. お問い合わせ先 : 国際 P2M 学会事務局 http://www.iap2m.org/regist_p2moffice.html